

2021.10.07. 木曜礼拝

主を見上げ救われよ

イザヤ 45 章&聖餐式

こんばんは。週半ば「(旧約) 聖書の学び」へようこそ。ご参加下さり大変うれしく思います。今夜は、「イザヤ書」です。主の御心なら、45 章を学び終えます。オンラインの方は、今から聖餐式セットを用意しておかれるのがいいかもしれません。聖書の学びの最後に、一緒に聖餐式を行いますので。またその間に、念のためお知らせします。私は 2 週間の休暇を取ります。どこに行くのでもありません。私はただ御座に行くのです。御座に請願し、主を求めるのです。私の代わりにアシスタントのマック牧師が代講してくれることを楽しみにしています。マックが、その 2 週間、つまり今度の日曜日と木曜日、その次の日曜日と木曜日に教えます。そして御心なら、私は 10 月 24 日、日曜日に戻ってきます。本当に皆さんにお願いするのは、特にこんにち起こっている全てについて、私が主に求めることが明確になるよう、祈っていただきたいのです。それは、何と書いていいのかわかりませんが、つまり、未知の部分が多すぎて、分らないいいことがたくさんあります。分らないときは、唯一、分かる方のところへ行けるのは分かっています。それがまさに、私がしようとしている事です。祈りに多くの時間を費やし、御言葉に多くの時間を費やし、主を求め、主と一緒に過ごしながら、説教壇に立っていたら、できなかったであろう時間を過ごします。ですから、どこに行くのでもなく、私はここ、この島にいつも通りいます。しかし私は、イエスと二人になる必要があります。私は主と話し、起こっている全てについて、主からの語りを聞く必要があります。色々なことが起きていますからね。ですから本当に、謙虚に、私のため、皆さんに祈っていただきたいのです。主が皆さんに繋がる通り、皆さんの心に私を繋げてください。主が常々なさってくださる通り、私は主が毎日、昼も夜もなさって下さるのを祈ります。でも大袈裟な祈りでなくていいので、「主よ、JD を導いてください。」だけでいいのです。そうしていただきたいのです。「どうか JD に話してください。」「JD は本当に起こっている事すべてについて、主から必要があるからです。」良ければ、これも追加できます。OK。では始めましょう。よろしければ、ご一緒に、祈りの言葉から始めましょう。今夜の「聖書の学び」を祝福下さるよう、神にお願いしましょう。

天のお父様。心から感謝します。あなたが触れて癒して下さった人たちが、体調不良後、今は交わりに戻っています。主よ、あなたは偉大な医師です。主よ、祈りと、私たちが祈るときに下さる力に感謝します。私たちが祈ると、あなたは、いと高きところから聞いてくださり、私たちの叫びの声にいつも耳を傾けてくださるからです。そのことに、私たちは感謝してもしきれません。主よ、今夜の「聖書の学び」をありがとうございます。あなたの御言葉を、今夜私たちの前にあるこの箇所をありがとうございます。主よ、今夜は、聖餐式をお祝いできることにも感謝します。ただ私たちの時間をあなたに委ねます。どうかそれを祝福し、あなたの御言葉を通して私たちの人生に語りかけ、導いてくださるようお願いいたします。特に、疲れている人、戦いに疲れている人、苦勞している人に。主よ、今夜は、あなただけが御出来になり、いつもそうしてくださるように、私たち全員の心を強め、励ましてくださるよう祈ります。ですから主よ、あなたがなさって下さる事を前もって感謝します。イエスの御名によって。アーメン、アーメン。それでは！ 今夜、私たちの前にある章は、主が預言者イザヤを通して、主が神であり、それ以外に神はいないことを繰り返し宣言されます。さて皆さん、これは分かりきった当然のことだと思われるでしょうが、今から見ていく通り、そうではないのです。そして主は、これを宣言されるだけでなく、証明されます。今から見ていく通り、主は色々な方法でそれをなさいます。しかしもっと重要なのは、そうなさりながら、

主が願われているのは、私たちが主に目を向け、救われる事です。これを締めくくりに見ることとなります。具体的なこの言葉を皆さんに覚えておいてほしいのです。『主に目を向け、救われる。』皆さん、こう仰るかもしれません。「失礼ながら牧師さん、私はもう救われています。」はい、それだけではないのです。よく言われるように、「あなたは聖歌隊に説教しています。」(すでに救われた人に説教する)あえて言えば、聖歌隊にも説教が必要な時があるのです。つまり牧師もそうです。今夜主は、私たちへの御言葉をご用意されています。神は、ご自分の御言葉が義にかなったものであり、取り消さないと宣言されます。すべての膝はかがめられ、すべての舌は告白する。聖霊によって、預言者イザヤが、このように宣言します。使徒パウロが反復しているように、このことは「ピリピ人への手紙2章11～12節」に記されています。その節だったと思います。私の記憶が正しければ、たぶん間違っているかもしれませんが、そうだと思います。私のお気に入りの節の一つで、よく話しますが、それが預言的な約束です。なぜなら、すべてのひざが屈められ、すべての舌が告白する日が来るからです。「イエス・キリストが主である。」それが今夜見ていく内容です。皆さん、始める準備はできていますか？ 始めましょう。1節、

イザヤ書 45章

1 主は、油注がれた者キュロスについてこう言われる。「わたしは彼の右手を握り、彼の前に諸国を下らせ、王たちの腰の帯を解き、彼の前に扉を開いて、その門を閉じさせないようにする。

2 わたしはあなた（キュロス）の前を進み、険しい地を平らにし、青銅の扉を打ち砕き、鉄のかんぬきをへし折る。

先週、44章の終わりにあったこのことが、45章にも波及しています。このキュロスという人物について、彼が登場する約200年前に、この驚くべき預言がなされています。おそらく彼が生まれる150年以上も前のことだと言っておきます。少なくとも、彼の両親が生まれる100年ほど前のことであるのは間違いありません。ここで神は、預言者イザヤを通し、この人物の名前を挙げて、この預言を宣言しておられます。200年前に。神だけがそれを御出来になられます。それ以上に驚くべきは、次の展開を語られるのです。神が、このキュロスという人物に、どのように油を注いだかという預言だからです。バビロンを、バビロンの門を、バビロンの城壁を、バビロンの青銅の扉と鉄のかんぬきを滅ぼすために。

イザヤ 45

3 わたしは秘められている財宝と、ひそかなところに隠された宝をあなたに与える。(その理由は、あなたの為ではない) それは、「わたしが」主であり、あなたの名を呼ぶ者、イスラエルの神であることをあなたが知るためだ。

4 わたしのしもべヤコブのため、わたしが選んだイスラエルのために、わたしはあなたを、あなたの名で呼ぶ。

わたしはあなたに名前を与える。あなたの両親でさえまだ知らないが、わたしは既にあなたが生まれると、キュロスと名付けます。

...あなたはわたしを知らないが、わたしはあなたに肩書きを与える。

お聞きください。これもまた、驚くべきことで、これは、キュロスという名の人物が、生まれる200年前の預言であるだけでなく、この人物が、神に油注がれ、召される預言でもあるのです。彼は神を知らないにも関わらず、神は彼を用いられるのです。どうやって神は彼を用いられるのでしょうか。神は彼を用いて何をなさるのでしょうか？ お～神はこのキュロス王を用いて、バビロンに行き、バビロンを滅ぼし、イスラエル人を自由にします。イスラエルの民をエルサレムに戻し、街を再建し、城壁を再建し、神

殿を再建されるのです。OK。ちょっと待ってください。ここにいくつかの問題があります。問題その1、バビロンはまだ、支配する帝国ですらありません。まだアッシリアが支配しています。

「あ～しかし、バビロンが支配します。今に分かるから。」お～そして別の問題は、あなたは、あなたが油を注がれ、これを行う時に召されるこのキュロスが、その城壁を打ち壊すことを、預言的に具体的に宣言しておられますが、本当にそうなのですか？「なぜ尋ねるのですか？」なぜなら、バビロンの城壁は非常に厚く、2台の戦車が城壁の上で走り、競争をしていたと言われていました。それくらい大きく立派な壁です。どう考えても不可解にしか思えません。なのに、神はこう仰っています。

「わたしが、あなたにそれを粉々にさせます。」わお～なんという預言でしょうか。私は考えていたのですが、聖書解説者の中には、恐らく考古学的方法で城壁の幅を測り、どれくらいの厚さだったか学者の言葉を引用しています。つまり、壁の上で戦車レースができるならつまり、進んで戻る方向を考えると、何車線あるのかは分かりません。私は車線の下に住んでいます。あの車線を一度に通れるのは小型車 1 台だけなんです。誰かが入ってきたら、車を停めて、彼らが入って来れるようにしなければなりません。彼らは親切ではないので、私を行かせず、抜かせてくれませんか。それほど狭いのです。でもこの（城壁）は、巨大なのです。大きくて、厚くて、広い壁です。それで彼が、この城壁を粉々にするのですか？—そうです。この預言は、その時が来て、100%の正確精度で成就しました。ところで、良ければ、「ダニエル書」を見てください。具体的には5章。もっと具体的には、25節。皆さんその記述を覚えていますね？ ベルシャツアル王。彼らは、エルサレムを破壊した時に、神殿から奪った金の器を使って、大宴会を催しています。大ブーイングです。してはいけません。その時、突然人の手が現れ、壁に文字を書き始めました。（ダニエル 5:5 参照）

ところで補足させていただくと、私たちの日常にはたくさんの言い回しがありますよね？ どこで彼らは手に入れたのか知っていますか？ 彼らは聖典を完全に盗用したのです。そして、ここにもその事例があります。「壁に書かれた手書きの文字。お～ダニエル 5:25 だ。」自分の素材を手に入れろ！—(笑)—しかし、その言葉はそこから来ているのです。手書きの文字が壁に書かれます。ここで彼らは大宴会をしていて、酒を飲み、いろんな放蕩をしています。そして突然、まさにそのタイミングで人の手が現れて、ベルシャツアル王の宮殿の壁に文字を書き始めます。その壁を、キュロスが粉々にするのです。その門も、城壁も、青銅の扉も、鉄のかんぬきも。その手書き文字が何と語っているかご存知ですか？

「メネ、メネ、テケル、ウ、パルシン。」意味を知っていますか？

「あなたは秤で量られた結果、不足していることがわかりました。（ダニエル 5:27 参照）

今風に、大変緩い訳し方で言ってもいいですか？「ゲームオーバーだぜ、相棒。」繰り返しますが、非常に緩い言い換えです。しかし、「終わりだ。」です。そして、そうになりました。まさに神がそうなるかと仰った通り、キュロスに関するこの預言が成就したのです。それは神がなさったことです。そのため、神は人を用いられたのです。しかしここで、その理由について少しお話します。なぜ神はそうなさったのか。5節、

イザヤ 45

5”わたしが”主である。（強調されているのは”わたしが”）ほかにはいない。...

考えてみれば、神がなさることは、神以外にはできません。

...あなたはわたしを知らないが、わたしはあなたに力を帯びさせる。

これは2度目です。

6 それは、日の昇る方からも西からも、わたしのほかには、だれもいないことを、人々が知るためだ。わたしが主である。ほかにはいない。

7 わたしは光を造り出し、闇を創造し、平和をつくり、わざわいを創造する。(何ですって?) これは話す必要があります。覚えておいてください。

...わたしは主、これらすべてを行う者。

OK。ここで神は、宣言されています。「これが、わたしがそれをする理由です。そうすれば、あなたも彼らも、そして皆が、"わたしが"神であることを知る。」「わたしの他に神はいない。」「神であるわたしだけが、それを実行するのは、どんな他の神にもできない。」「わたしは神であり、わたしだけが闇から光を形成し、光を作り、闇を作る者である。」「わたしは神であり、平和を作ることができる唯一の神である。」「そして、これを言いたくはないけれど、災いを創る。」

ちょっと待ってください。神様。あなたは、愛は？ わざわいを創造されるのですか？ それはとても気がかりです。大変心配です。それなら、私の人生に災いをもたらしたのは、あなたなんですね。ちょっと待ってください。そんな慌てずに。そうではありません。神が預言者イザヤを通して、ここで仰っていることは、ご自分が神であるということで、神が、主権を握っておられるという事です。なぜ神が私たちの人生に災いをもたらすのか私たちが、理解できない時でさえ、神は私たちの人生に災いをお許しになるのです。お付き合いください。なぜなら、私たちはこれについてよく話してきました。十分に頻繁に話すのが可能だとは思えません。大変重要すぎるからです。それは最も重要なことです。私自身、そして私の主との歩みにおいて、このことを理解し、この唯一の真理を知ると、主との関係が一変しました。特に、逆境や試練、困難、真っ暗な嵐、辛い経験に見舞われた時、人生の中で災いに見舞われた時に。いつも最後に疑問符？がつきます。「なぜですか？」という疑問です。「神様、なぜですか？」ある意味、それは間違った質問です。すぐに説明しますが、その質問は「なぜ」ではなく、実際にはそれ以上で、「何を」この試練で私に見せたいのですか？「神よ。なぜ私にこんなことをするのですか？」ではなく、「私はあなたに何もしていませんよ。」「わたしがあなたに何かをしているのではなく、わたしがあなたにこのようなことが起こるのを許すことで、あなたのためになるのです。」シンプルなこの真理は、聖書のいくつかの箇所で見ることができますが、その中でも、ヨブ記の1章が最も有名です。悪魔は、神が許可されない限り、私たちに何もすることができません。そして神は、最終的に神の栄光と私たちへの益のためでない限り、悪魔が私たちに何かをしたり、災いをもたらしたりするのを、決して許されません。今、すぐにも、早ければ早いほど良いのは、皆さん、その真理を早く把握できれば、特に試練の時には有利になります。そのことを知り、理解し把握していなければ、常に主に疑問を抱くことになるからです。あなたはいつも、主の善や愛について疑問を抱き、災いをお許しになることで、神がなさを誤解してしまいます。敵はそこにおいて、嘘を補強します。あなたを欺き信じさせようとするのが、偽りの父です。

「神があなたに怒っている、神があなたを罰している、だからこれが起こるのを許しておられる。」とそうではなく、神が災いを許されるのは、より大きな目的があられるからです。新約聖書の中で、イエスがペテロにこう仰ったとき、私はビビりましたよ。イエスはペテロに仰います。

「サタンが、あなたを麦のようにふるいにかける許可を求めました。」(ルカ 21:31 参照)

私がペテロならこう言います。「主よ、ダメだと仰いましたよね？ ^^」「いいえ。OK と言いました。」サタンは許可を得なければならなかったのです。サタンがヨブに何かをする前に、神の許可を得なければならなかったのと同じで、神がお許しにならないなら、サタンは、ヨブに触る事も出来ませんでした。

ペテロも同様です。

「サタンは私に、あなたをふるいにかける事、災いをもたらす事の許可をわたしに求めなければなりませんでした。そしてわたしは許可を与えました。」

「主よ、なぜですか？私が何か間違っただけですか？」「違います。わたしの目的のためです。なぜなら、あなたはふるいかけられると、ふるいかけられた後、そのふるいかけられた後があります。あの嵐には後があります。あの試練には後があります。その後、あなたは、兄弟たちを導くのです。」それを考えてみてください。「あなたの益とわたしの栄光のためになるから、わたしは敵にそれを許すのです。それだけでなく、他の人への祝福になるのです。」そのように考えたことはありますか？使徒パウロが、コリントの教会への手紙で「私たちは、自身が主に慰められたのと同じ慰めで、他の人を慰めることができる」と語っています。皆さん、考えたことはありますか？時に神は、非常に苦しいことをあなたが経験するのを許される。なぜなら、同じような経験をする人の人生にあなたを用いられるからです。あなたはそこにいて、彼らを慰め、彼らに言い、彼らに証するのですよ。皆さん、これは、主が私にしてくださったことです。主は私を慰め、強くして下さいました。乗り越えさせて下さいました。そして、主は、あなたにもそれを乗り越えさせて下さいます。そして、あなた自身が主から受けた励ましで、人々を励ますことができるのです。これが理由です。これが理由なのです。それが「何を」の裏にある「なぜ」です。8節、

イザヤ 45

8 天よ、上から滴らせよ。雲よ、義を降らせよ。地よ、開け。天地が救いを実らせるように。正義をともに芽生えさせよ。わたしは主。わたしがこれを創造した。」

9 ああ、(嘆き、呪い、悲しみ、災い) 自分を形造った方に抗議する者よ。陶器は土の器の一つにすぎないのに、(そして質問なされています。)粘土が自分を形造る者に言うだろうか。「何を作るのか」とか「あなたが作った物には手がついていない」と。

わあー。これはとても詩的ですね。主がここで何を見せようとしているのか、私たちはよく考えてみた方がいいと思います。関連しているのは、繰り返しになりますが、主を疑ってしまう事です。粘土が陶芸家を疑うかのように、バカバカしくて滑稽なのです。「何をしていますのですか？」「なぜこんなことをするのですか？なぜあなたは造るのですか？」「黙りなさい。あなたは粘土なんだから。あなたには、陶芸家に質問する権利はありませんあなたは陶芸家の手の中の粘土です。」ご存知ですね、あの讚美歌。言いたいのは、言いますが、私のお気に入りの讚美歌ですが、

全ての讚美歌は私のお気に入りですが、これは特別です。なぜなら母が、私が子どもの頃に、この曲を教会で私に歌わせるためにお小遣いをくれました。讚美歌集 272 番でした。その賛美歌集は今でも私の書齋にあります。全く同じ讚美歌集です。272 ページ。何の讚美歌かご存知ですか？

「主よ、あなたのやり方で、この歌詞の続き知ってますか？ 台無しにしたり、へまはしたくありませんが、基本的にはこんな感じです。「主よ、あなたのやり方でなさってください。主よ、あなたのやり方で。あなたは陶器師。私は粘土。あなたの御心通りに、私を形づくり、お創りになってください。私が待っている間、(ここが厳しい箇所です。)"降伏して、じっとしています。)"降伏して、じっとしています。"の箇所に来るまでは大丈夫だったのですが、陶器師は、私たちが陥りやすいのは粘土なのに、疑問を持ち、主を疑ってしまうのです。粘土が主を疑うような感じで、「主よ、なぜあなたはこれをするのですか？なぜ私をこんな目に遭わせるのですか？なぜこれを許されるのですか？」それは、粘土が陶芸家に質

問しているのと同じです。しかしそれより悪くなります。理由は、また、作り手と一緒に頑張って頑張る人もいます。言い換えれば、1つは、主に疑問を持ち、そしてもう1つは、主に対して戦い、主に対して頑張ることです。それはもっと無茶な話です。それは、この粘土が陶器師を疑っているだけではありません。粘土がいきり立ち、陶器師に対して歯向かう。陶器師に戦うのです。

「私はそんな形は嫌です。違う形がいいです。なぜそんな風に造るのですか？」あなたが敵対して戦って、「すみませんが、こんなことは言いたくないのですが、あなたは粘土ですよ。ショックでしょうけど、わたしが陶器師なのです。わたしがコントロールしているのです。わたしは、自分が何をしているのかわかっています。わたしがあなたを作り、あなたを形にしていけます。」因みに、それが主の目的なのです。繰り返しますが、それが「何を」の裏にある「なぜ」なのです。

ローマ人への手紙 8章 28節

「神のご計画にしたがって召された人たちのためには、すべてのことがともに働いて益になる事を、私たちは知っています。」

そして 29 節で、その目的が何か記されています。主の目的は、私たちがイエスのかたちと同じ姿にされることです。最近、その細則を読んだことがありますか？ キリストのようにするために、主は、私たちがイエスの姿に創られるのです。キリストはどんなお方だったのでしょうか？ お～柔和で、優しく、愛情深く、親切で、に、、、に、、、忍耐強い。「ガラテヤ人への手紙 5 章」の”聖霊の実”に似て聞こえませんか？ 神は私たちがイエスに似せて創られます。そして、それをどのようにしてなさるのか。このことをイザヤ書で読みます。しかし、イザヤは聖霊によって語ります。

主は、私たちが精錬するため苦しみの炉を選ばれました。(イザヤ 48:10 参照)

「私は精錬されたくありません。」磨かれないけど、精錬されたくありません。苦しみの炉の中でなくていいと思うんです。とても痛そうで、とても熱そうですから。むしろ、主に私を、苦しみの炉ではなく、ハワイのビーチで精錬してほしいのです。その方が私にはしっくりきます。いいえ。主は、苦しみの炉を使わなければなりません。それが、陶器師が粘土にすることだから。陶器師は粘土を手にし、こうします。ここが痛いところです。主は、器を作るため、中のゴミ（不要物）を全部取り出さなければなりません。そして主は、その粘土を轆轤（ろくろ）にかけます。そして、時速何億マイルものスピードで回転させる。人生の中でそうなる時のことを考えます。「主よ～～～何をされているのですか？」「お～あなたは轆轤の上にいるのですよ。つかまりなさい。これからさらにスピードを上げますから。」あなたが轆轤にいる間に、しなければならぬことがいくつかあって、わたしは、あなたを形作っているからですよ。」

「そうなんですか？」「はいそうです。」「何をなさるのですか？」「見ていなさい。」私は、陶器師の轆轤の上で、時速何億マイルものスピードで回転していて、神は御手でこうされます。”バーン！！！”（御手を入れる）「あ”～～～～～～”」「主よ、何をなさっているのですか？」「お～ここで形作るのですよ。」主は私を形作っておられます。それから、あなたは気づき始めます。「わ～轆轤のスピードが落ちてきている！」「ぜ～ぜ～ぜ～（やれやれ）」「まだ終わってませんよ。」主は、轆轤からあなたを取り、その名も相応しい Kiln=窯に入れられます。学校で陶芸や、工芸の授業を受けた時を覚えていますか？ ここに苦しみの炉があります。それを「Kiln=窯」と呼びました。偶然じゃないと思います。意図的だと思います。「神よ、あなたは私を Kill=殺されるのですか？」なぜなら主は温度を上げられるのです。「いいえ。わたしはあなたを精錬するのです。熱を使わなくてははいけないのです。なぜなら、精製される金のように、すべての不純物を表面に出すのは熱だからです。そしてその金細工師は、熱によって表面に出てくる

無価値なものを除去するのです。そして主は、その黄金の中に、ご自分の姿を見ることができれば、純金だとお分かりになるのです。そしてその時、私は主の姿に似るのです。それからさらに良くなるのが、芸術家が常に自分の作品に名前を付ける方法をご存知ですか？ 私たちは彼の作品です。新約聖書原語、ギリシャ語の興味深い単語は、ギリシャ語の poema で、英語の poem の語源となった単語です。私たちは主の芸術作品です。どんなもんだい？ つまり、私を見ただけで皆さんこう言うでしょう。「わお～、主はたくさん仕事されてるんだ！」外見だけではありません。内面もです。

外見は日に日に衰えていきます。しかし、内的には新しくされます。(第二コリント 4:16 参照)

主は、私たちが内側から変えて下さっています。主は、私たちをもっとイエスに似るよう創っておられます。それが主のなさる方法です。出来上がったら、ご自分の御名前を入れられます。ご自分の作品に、作者として、ご自分のお名前を。「黙示録」で記されているのは、待ちきれません。私の新しい名前が待ちきれません。そもそも自分の名前が好きではありませんでした。でも、新しい名前を貰えるのです。中東の文化では、あなたは家族の名前で、苗字で知られているからです。結婚すると、妻は夫の名前を名乗ります。それを私たちは、イエスとするのですよ。新しい名前を名乗ります。ところで「民数記6章」の「アロンの祝福」ですが、これを言うつもりはありませんでしたが、お付き合いください。皆さんへの励ましになるかもしれません。それを思い出すたびに、私にとってはそうなのです。しかし皆さん、この「民数記6章」の「アロンの祝福」ご存知ですよ。

『主があなたを祝福し、あなたを守られますように。主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。』(民数記 6:24-26)

因みに、may=かもしれない をいれないでください。”主が祝福されるかもしれません。”ではありません。決まっているからです。その裏話を理解しておく必要があります。神はモーセに、民が会見の天幕に来るたびに、アロンにこの祝福を宣言させるよう命じられました。つまり、1日に1回以上、2回でも3回でも、教会、いわば幕屋に行くたびに、この祝福を受けることができます。主はあなたを愛しておられます。主はあなたを守られます。主が、あなたを捨てたり、見捨てたりすることはあられません。”主が御顔をあなたに向け”その意味ご存知ですか？ 主は笑顔なのです。眉をひそめて怒っているではありません。そうではなく、主は笑っておられるのです。そして主は、あなたに平安を与えられます。アロンの祝福に目を通すと、ああ、それは、つまり、神はご自身が祝福の神であり、祝福したいと思っていることをご自身の民に知ってもらいたかったのです。主は民に平安をお与えになりたいのです。主は御顔を民に向けられたいのです。息子たちがまだ幼かった頃、ごめんなさい、言わなきゃ我慢できません。私たちは、いや私は、妻の手柄ではありませんから。私はラップソングを作って、息子たちに教えました。こんな方法です。

♪主があなたを祝福し、あなたを守られますように。主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。...♪ ♪主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。♪ ー(笑)ー

だから子どもたちは、後々トラウマになってしまったのでは？ 多分そうです。でも、それをずっとやっていたんです。つまり、彼らが本当に小さいとき、私が彼らのオムツを変えていた時、私は、ラップでアロンの祝福を宣告するのです。ー(笑)ー

これには症状名がついています。間違いなく、でも構いません！ 言い換えれば、主は彼らにこのことを、この言葉を、いつもいつも知ってもらいたかったのです。しかし、それだけではありません。それで終わらないのは、この祝福が宣告された後、主は仰いました。

「わたしは、”わたしの名”を彼らの上に置く。」(民数記 6:27 参照)

今、私たちの文化ではその意味を見失っています。深い意味は、誰かに「神の御名を置く」と言う事は、人に与えることのできる最高の祝福なのです。子どもの頃、母はアラビア語で言いました。「イエシュアと言うわ。」彼女は、アッラーを使いました。アラビア語で神と同義語だからですがエホバではありません。なので、私は変えました。イサム・イエシュア・アリエックつまり、宣言された祝福は、「イエスの御名をあなたの上に。」あなたが誰かに宣告できる最高の祝福は、その人に神の御名、イエスの御名を宣告することなのです。「わたしの名をあなたの上に置く。」それが、主が民に願われた事です。なのに私たち粘土は、ここで聞きます? 「何をしていますのですか?」「粘土でいなさい。そのうち分かります。わたしはまだ終わっていません。」その仕事を始められた方は、忠実にそれを完成させていただきます。10 節、わざわざいだ。(再び、悲しみ、嘆き、呪い)

イザヤ 45

10 わざわいだ。自分の父に「なぜ子を生むのか」と言い、母に「なぜ産みの苦しみをするのか」と言う者。

11 イスラエルの聖なる方、これを形造った方、主はこう言われる。「これから起こることを、わたしに尋ねよ。わたしの子たちについて、またわたしの手のわざについて、あなたはわたしに命じるのか。」

12 このわたしが地を造り、その上に人間を創造した。このわたしが手で天を延べ広げ、その万象に命じたのだ。

どうしても気になってしまいます。もしかして皆さんも、気づいているかもしれませんが、神がここで仰っている強さとは? 神が仰って、繰り返し、強調されているその意味は、わたしがどのように、またなぜそうするのかをあなたが疑う権利はありません。わたしは神です。わたしは御手で天を延べ広げ、あなたを創造しました。誰かが自分の親に向かってこう言うようなものです。「何をしていますの?なぜ私を産んだの?」何ですって?何ともバカバカしい話です。私たちの神、イスラエルの聖なる方である主にとって、どれほどのものでしょうか。13 節、

13 このわたしが義をもって彼(キュロス)を奮い立たせ、彼の道をことごとく平らにする。彼がわたしの都を建て直し、わたしの捕囚の民を解放する。代価を払ってでもなく、賄賂によってでもない。——万軍の主は言われる。」

それは当時、彼らがすることでした。

14 主はこう言われる。「エジプトの産物とクシュの商品、それに背の高いセバ人も、あなたのところにやって来て、あなたのものとなる。彼らはあなたの後に従い、鎖につながれてやって来る。そして、あなたにひれ伏して、あなたに祈る。『神はただあなたのところにだけおられ、ほかにはなく、ほかには神々はいない』と。」

つまり、彼らはこれを目撃するのです。キュロスがこれをする。これは不可能、考えられない、あり得ないことです。しかし彼がそれを実行すると、人々はこう言います。「これは神に違いない。それは神でないと無理だ。他に神はいない。」

15 イスラエルの神、救い主よ。まことに、あなたはご自分を隠す神。

16 偶像を細工する者どもはみな恥を見、辱めを受ける。彼らはともに、辱めのうちに去る。

ここで誰のことを言っているのでしょうか? そう、偶像を造る者たちです。

17 イスラエルは主によって救われ、永遠の救いに入れられる。あなたがたは恥を見ることも辱めを受け

ることもない。永遠に至るまで。

注意点：とこしえに。イスラエルよ、永遠に。これは、神がイスラエルと結んでおられる永遠に続く契約を思い起こさせます。永遠のご契約です。意味深なのは分かっていますが、皆さん、永遠の約束が分かりますか？ 契約は永遠に続くという事です。繰り返しますが、大変意味深いですよ？ なぜそんな大げさに言うのか？ なぜなら、「神はユダヤ人を見捨てられた」と言う人たちがいるからです。それなら、ここの一節をどうするのですか？ 同様に多くの人たちが、神は、ユダヤ人との契約があられるので、ユダヤ人を見捨てないと宣言されていて、同様に、神は私と契約があられあなたともあられます。もし神がユダヤ人を見捨てられているのならそう仰る人に質問があります。もし神がユダヤ人を見捨てられているのならあなたはどのくらい安全ですか？ なぜなら、神は、ユダヤ人と契約を結んでおられ、神はあなたと契約を結んでおられるからです。もし神がユダヤ人と永遠の契約を結んでおられないのであれば、あなたとの契約はどうですか？ 私は言わなければなりません。「置換神学」とは、教会が、神に選ばれた民イスラエルに取って代わり、神はイスラエルを見捨てたと教える偽教義です。これは、教会を席卷した悪魔の教義の中でも、最もダメージを与えるものの一つと言えるでしょう。神は、ユダヤ人を見捨てておられません。神は、ユダヤ人にご計画があられます。それは、永遠の救いのためのご計画です。18 節、

イザヤ 45

18 天を創造した方、すなわち神、地を形造り、これを仕上げた方、これを堅く立てた方、これを茫漠としたものとして創造せず、住む所として形造った方、まことに、この主が言われる。「わたしは主。ほかにはいない。

時間の関係上、また必ずしも取り上げるほど重要でないと考えますが、多くの人が、この聖句を「創世記」の天地創造の記述と合わせて、サタンが地上に落とされた時のギャップ理論（ギャップ説）と呼びます。私は個人的に、ギャップ理論は信じていません。しかし、彼らはその節を使います。繰り返しますが、私はそうは思いません。では時間がないので、次 19 節。

19 わたしは隠れたところ、闇の地の場所で、語らなかった。茫漠としたところで、ヤコブの子孫に『わたしを尋ね求めよ』とは言わなかった。わたしは主。正義を語り、公正を告げる者。

では、神はイザヤを通して、何を語っておられるのでしょうか。私にとって、主を求めることは決して無に帰さないことを、大いに思い起こさせてくれます。イエスがどのように言われ、教えられたかを考えてください。

「求めなさい。そうすれば与えられます。探しなさい。そうすれば見出します。たたきなさい。そうすれば開かれます。」(マタイ 7:7)

原文では、このような考えが含まれます。「求めなさい。求め続けなさい。探しなさい。探し続けなさい。叩きなさい。叩き続けなさい。」「あきらめない。無に帰しません。」「ヘブル書」にそれがあります。

「神が ご自分を求める者には報いてくださる方である」(ヘブル 11:6)

イエスが教えてくださったたとえ話はどうでしょうか。とても難しいたとえ話です。もちろん、すべてのたとえ話が難しいです。それは、私たちが事実、「しつこいやもめ」と参照しているものです。彼女は、ある不当な裁判官に正義を求めることを諦めません。つまり彼女は、四六時中、ドアを叩きます。裁判官はこんな感じです。「どこかへ行け！」彼女は、「いいえ、行きません！」(ドアを叩き続けます)最終的に彼は、「あー！」という感じで、「彼女を止めるには、正義を下すしかない。」くれぐれも、神が天国で「あー！」と仰っているとは思わないでください。「JD から解放される唯一の方法は、彼が求め、探し、

扉を叩く物を与える事だ。」違います。たとえ話のポイントは”粘り強さ”です。諦めず、求め続ける。無駄に終わりません。あの不当な裁判官がそうするのだから、宇宙の公正な裁判官なら、どれほどあなたのためにそれをして下さるでしょう？他にも、イエスが教えておられる個所があり、地上の親である私たちは、子どもに頼まれた時良い贈り物をする方法を分かっています。

子どもたちがパンを求めているのに、私たちは、石や魚、蛇など与えません。(マタイ 7:9-10 参照) 皆さん、子どもに良い贈り物をする方法を分っています。天の御父は、求める者にどれだけ多くを与えて下さるでしょうか。ヤコブがこう言っています。

「自分のものにならないのは、あなたがたが求めないからです。」(ヤコブ 4:2)

言い換えると、ひっくり返してみると、”求めたから自分のものになるのです”私は決して、あ～時間がありませんね。先に進みましょう。皆さん、嫌ですか？ OK。言おうとしていたことを言います。主の御前に立って、こう言われたくありません。

「もし、あなたが求めていたなら、わたしはあなたにそれを与えたでしょう。でもあなたは求めなかったね。」言っただけでいいことだったのかもしれませんが。皆さん、そんな風に私を見ているから。「わお～どうもありがとうございます。」

イザヤ 45

20—諸国からの逃亡者たちよ。集まって来て、ともに近づけ。彼らは自分たちの木の偶像を担ぐ者、救えもしない神に祈る者たちで、知識がない。

21 告げよ。証拠を出せ。ともに相談せよ。だれが、これを昔から聞かせ、以前からこれを告げたのか。わたし、主ではなかったか。わたしのほかに神はいない。...

主は、この章で何回そう仰っていますか？数えましたか？ 主の他に神はいないという印象を受けます。**...正しい神、救い主、(ここで再び) わたしをおいて、ほかにはいない。**

そして 22 節、ここです。

22 地の果てのすべての者よ。わたしを仰ぎ見て救われよ。...

ここ覚えておいてください。

...地の果てのすべての者よ。わたしを仰ぎ見て救われよ。わたしが神だ。ほかにはいない。

23 わたしは自分にかけて誓う。

つまり、神が誰に誓うのかを考えてみてください。私たちって「神に誓う。」ですよ。じゃあ、わたしは神だから？「わたしは自分に誓う。」それが、神が仰っている事です。わたしは自分自身に誓いを立てます。でも、それ以上いと高き者はいません。わたしは宣誓し、誓いを立てます。お～わたしは神だ。だから自分自身に誓うのです。それから神はこう仰います。

...ことばは、義のうちにわたしの口から出て、決して戻ることはない。すべての膝はわたしに向かってかがめられ、すべての舌は誓い、

24 わたしについて、『ただ主にだけ、正義と力がある』と言う。主に向かっていきり立つ者はみな、主のもとに来て恥を見る。

25 イスラエルの子孫はみな主によって義とされ、主を誇りとする。

わお～わお～わお～わお～つまり、これを思いつくほど私は賢くありませんが、今夜聖餐式をお祝いするこのタイミングで、この章。これは主からです。その理由を説明します。『わたしを仰ぎ見て救われよ。』こんな風に言っているのですか？『わたしを仰ぎ見て癒されよ。』「民数記 21 章」その記述を覚えてますか？

イスラエルの民は、またぼやいています。神に対して、文句を言い、ぼやいています。先ほど、私たちは粘土のようなものだと話しましたね。神は、「分かりました。」そこで神は、蛇で、文句を言う者たちを嘔ませ殺されました。そしてモーセとアロンが「神よ。どうかお願いします。」と彼らは祈り、執り成します。自分だったらそうしていたかどうかは分かりません。私ならこう言います。「あなたがたが愚痴をこぼすからだよ。」マズいですか？ 皆さんだって同じことをしますって。そんな風に、靈的な目で見ないでください。民が今、叫んでいるので、彼らに代わって執り執り成します。「ああ、何とかしてください。やめてください、死んでしまいます。」「我々はこの蛇に嘔まれて死んでしまう。」そして神は仰います。「OK。あなたは、一本の棒を取り、青銅の蛇を作りなさい。そして、旗竿の上に掲げなさい。かまれた者はみな、それ（青銅の蛇）を仰ぎ見れば救われる/癒される。」（民数記 21：8 参照）

そういえば、イエスは、モーセが旗竿の上の蛇を掲げた「民数記 21 章」の記述を参照されましたね。

「モーセが荒野で蛇を上げたように、人の子も上げられなければなりません。」（ヨハネ 3：14）

お～、創世記の後ですね。創世記 3:16、3:15 ではなく、違う方です。それは、原福音ですから。ヨハネの福音書 3 章 16 節です。その直後に、イエスは仰います。神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに世を愛された。それは御子を信じる者が、一人として滅びることなく、それは、聖書の中でも最も人気があり、有名で、よく知られている一節のところ。その文脈で、イエスは仰っています。

「民数記 21 章」のように、ご自分は上げられなければならないと。イエスが基本的に仰っているのは、「わたしは、モーセに起こったことを成就させるのです。」青銅というのは、裁きの金属です。蛇というのは、罪の象徴。その青銅の蛇を掲げた旗竿は、十字架の形をしていました。今や悲しいことに、医療業界はそれを傷をつけ、ゆがめてしまいました。なぜなら、医療用のシンボルは、その変形版だからです。蛇が 2 匹なのです。蛇は 2 匹ではありませんでした。1 匹だけです。しかも、十字架の形ではないのです。神は、それを禁じておられます。人々はそう理解してしまうでしょうから。それではいけません。本当は、旗竿は一本で、そこに蛇が 1 匹ついているのです。薬のシンボルであり癒しのシンボルなのです。だからそれでは盗作です。医療業界は、聖書「民数記 21 章」から盗用し、医療のシンボルを手に入れたのです。そのシンボルを見たら、どこから来たものなのか分かります。さて、考えてみてください。パウロが言うように、（滅びゆる者たちには）十字架のことばは愚か（第一コリント 1：18）

これが聖餐式と結びつく理由です。それが今夜、私たちがする事。イエス・キリストの十字架と埋葬、そして復活を祝うのです。それが過ぎ越しの預言の成就でした。最初の三つの祭りは、過越の祭り、種なしパンの祭り、初穂の祭りです。過ぎ越しの祭り：十字架にかけられたこと種なしパンの祭り：埋葬初穂の祭り：復活を意味します。ですから、毒蛇にかまれ死んでいるイスラエルの民に、十字架の形をした旗竿の青銅の蛇を見れば癒されると言っているのです。

「頼みますよ～。からかっているのですか？」「あなたは私がイエスを見上げれば救われると言うのですか？」—そうです。私が思うに、細かいところまで記されているわけではありません。しかし、イスラエル人の中に、主に救いを求めない人がたくさんいたとしても私は驚きません。そして彼らは滅びました。不条理で、信仰が要求されたからです。

私たちは恵みのゆえに、信仰によって、救われたのです。（エペソ 2：8）

信仰によって。信仰を持って。

「OK。私は、この十字架の形の旗竿の上の青銅の蛇を見上げ、救われます。」それが信仰です。その青銅の蛇。イエスが私たちの罪を背負って、支払われました。イエスに裁きを課されました。

「木にかけられた者はみな、のろわれている」(ガラテア 3:13)

それが恵みです。

(私たちは) この恵みのゆえに、信仰によって救われたのです。(エペソ 2:8)

今夜、聖餐式を共にするにあたり、「第一コリント 11 章」を思い出します。「ルカの 22 章」に入りますが、しかし、「第一コリント 11 章」のことを思い起こします。使徒パウロが、コリント教会を、キリストの体を見極めることができなかつたと非難している箇所です。彼は言います。

「あなた方は、キリストの体を見分けることができないから、聖餐式を一緒にすると、ある人は病気になり、ある人は死んでしまう。」(第一コリント 11:29-30 参照)

これはゾツとするような一節ですね。私を含め、多くの牧師が非常にそれに苦労しています。パウロが語っていたことは、聖餐式のテーブルとはとても神聖なもので、キリストの兄弟姉妹に接するあなたがたのやり方で、聖餐式のテーブルに参加したから、あなたがたは病気になったのです。だから、あなたがたは病気なのです。だから、死ぬことさえあるのです。皆さん、御言葉における時間で、「第一コリント人への手紙 11 章」を読んでみてください。非常に身が引き締まる思いがします。しかし大変重要なのは、私たちが主に目を向けるとき、十字架上の完成された御業のおかげで救われるだけでなく、癒されるために主を見るのです。癒されるために、です。肉体的な癒しの話です。これも、間違った教えが教会に大きなダメージを与えている点です。私が言っているのは、信仰さえあれば癒されるという、The Word of Faith/ワード・オブ・フェイス※です。※「繁栄の神学」の元凶

信仰を持っていても癒されないのは？ 一もっと信仰を持てば癒されるのです。という運動。大変嘆かわしいのは、諺にもあるように、赤ちゃんをお風呂の水と一緒に捨ててしまったのです。私たちは、そのワード・オブ・フェイスから離れようとするあまり、逆に極端になってしまい、そうすることで、信仰を行使しないことになるわけです。今、入院中の姉妹がいます。彼女のための私たちの祈り方をご存知ですか？ 私たちは、彼女が瞬時に、奇跡的に癒されるよう祈っています。数週間前にシェアした、“しかし、神はストーリー”の証を覚えていますか？ 病院で人工呼吸器をつけている姉妹を、神は即座に、癒してくださいました。そして彼女は、すぐに目を開け、深呼吸をした。彼女は、人工呼吸器をつけています。彼女は病院の外に目をやると、太陽が輝いていた。主です。主が癒されたのです。でもなんというか、私たちは慎重になりすぎて、安全を求めすぎてしまう。自分は、御名を主張して、ぶちまけて掴み取るなんてことはしない。彼らようになってしまうから。信仰の赤ちゃんを、言わば、ワード・オブ・フェイスの教えというお風呂と一緒に捨てないでください。「へブル書」で、信仰がなければ、神を喜ばせることはできないことを学びました。信仰があれば、信仰によって、神を喜ばせることができるのです。福音書の中で、イエスは事実上何度すべてを止めて、指摘されましたか？ 誰かに信仰があることを。また、ないことも。イエスが育ったナザレに行かれたときはどうでしょう。イエスは故郷で、多くの奇跡をされなかつたのはなぜでしょうか？ なぜなら、預言者は自分の故郷では喜ばれず、彼らに信仰がなかつたからです。

「あ～あれはヨセフの息子じゃないか。まさか～。この世の救世主で我々を癒せるって??」信仰がないのです。“信仰によって”ですから、今夜の聖餐式を共にするにあたり、私たちに望むのは、私はそれを望みません。- そうなって欲しくないんです。- そうだとは言いませんが、絶対になりたくないのは、

「ああ。毎月第一木曜日に私たちがすることだから。」私は、日常的に行われるようなものにしたくありません。とても、とてもパワフルな時間なのです。イエスが私たちの為になさったことを祝う、とてもと

ても特別な時間なのです。「ルカの福音書 22 章 14 節」から始めます。ルカが聖霊によって書いています。

ルカの福音書 22

14 その時刻が来て、イエスは席に着かれ、使徒たちも一緒に座った。

15 イエスは彼らに言われた。「わたしは、苦しみを受ける前に、(十字架に行く前に) あなたがたと一緒にこの過越しの食事をするのを、切に願っていました。

16 あなた方に言います。過越が神の国において成就するまで、わたしが過越の食事をするのは、決してありません。

17 そしてイエスは杯を取り感謝の祈りをささげてから言われた。「これを取り、互いの中で分けて飲みなさい。

そしてこれを仰るのは2回目です。

18 あなたがたに言います。今から神の国が来る時まで、わたしがぶどうの実からできた物を飲むことは、決してありません。

19 それからパンを取り、感謝の祈りをささげたこれを裂き、弟子たちに与えて言われた。「これは、あなたがたのために与えられる、わたしのからだです。わたしを覚えて、これを行いなさい。」

では皆さん、聖餐式セットの上部を開けて、パンを出し、手に取ってお待ちください。私たちが手にしているのは、砕かれたイエス・キリストの体の象徴です。骨ではなく、皮膚が砕かれました。過越祭の子羊の骨は折られることはありません。それをすると、言い方は悪いですが、預言が壊されてしまいます。しかしイエスの皮膚は、完全数の7、7か所砕かれました。イエスの血は、7か所から流れました。イエスの体が砕かれたからです。それがパンが表す象徴です。イエスは「このパンを食べてほしい」と仰っているのですが、その理由は、わたしがあなたがたのためにしたことを思い出すために。わたしが、あなたがたの代わりに、あの木にかかり、あなたがたの罪をすべてわたしが背負ったときのことを。あなたがたの代わりに、わたしはその代価を全額支払いました。あなたがたに覚えてほしいのです。そこには癒しの力があるからです。つまり、私たちは救われていますよね。私たちはすでに、イエス・キリストの救いに辿り着いています。ですから、私たちはすでにイエスを見上げ、救われています。たぶん私たちは、癒される必要があるのです。肉体的な癒しではないかもしれませんが。恐らく、感情的な癒しです。それは、苦味や恨み、許せない気持ちからの癒しかもしれません。しかしイエスが刺され、その打ち傷がゆえに私たちは癒されたのです。

私たちの背きの罪のためにイエスは刺されたのです。(イザヤ 53:5 参照)

「イザヤ書 (53 章)」に出てきます。

イザヤ 53

5 彼は私たちの背きのために刺され、私たちの咎のために砕かれたのだ。彼への懲らしめが私たちに平安をもたらし、その打ち傷のゆえに、私たちは癒やされた。

一緒に頂きましょう。主イエスよ、感謝します。主よ、このことに感謝します。あなたを思い出すため、私たちにこれをさせて下さりありがとうございます。あなたの体は、私たちのために、私たちの代わりに、砕かれました。それが私たちに意味する事です。主よ、私たちのために、十字架へ行ってくださって、ありがとうございます。私たちの身代わりに死んで下さり、私たちが背負っている代価を全額支払って下さり、感謝します。主よ、ありがとうございます。ルカが、続けます。

ルカ 22

20 食事の後、杯も同じようにして言われた。「この杯は、あなたがたのために流される、わたしの血による、新しい契約です。

聖餐式セットの残りを開けてください。杯がありますので、再度手にして、しばらくお待ちください。さて、ここでまた、悲しいことに、ある種の決まり事ようになってしまっていて、そのため、私たちは見逃してしまいがちです。つまり、よく歌い、よく話すのです。そうすると、意味を失ってしまうと思うんです。あまりにも決まり事になっているからです。しかし、私たちは「イエスの血には力がある」と言えますね。そして歌います。「血潮には力がある、血潮には力がある。」主の血潮がどれほどパワフルか知っていますか？ was=過去形ではなく、現在、is=現在形です。とてもパワフルで、救いのためパワフルです。とてもパワフルです。

たとえ、あなたがたの罪が緋のように赤くても、雪のように白くなる。(イザヤ 1:18)

大変パワフルで、

東が西から遠く離れているように 私たちの背きの罪を私たちから遠く離される。(詩篇 103:12)

もはや彼らの罪を思い起こされない。(へブル 8:12)

それが御力なのです、御力です。今夜、罪からの罪悪感と恥を持って来られた人がいるかもしれません。そして、敵がそこにいて、一週間ずっと、あなたの顔にこすりつけています。今ここでそれを終わらせません。私たちの代わりに流された主の血の象徴を私たちは手に持っており、主の血がその罪を贖ってくださったからです。もう非難されることはありません。もう罪悪感はありません。もう恥じることはありません。あなたは、その罪悪感と恥を背負い、支払って下さったあの十字架の下へ行くのが遅くなればなるほど、その罪悪感と恥の重さで押し潰されてしまいます。おそらく今夜は、あなたが赦されていることを思い出すため大変必要な時です。支払われています。時には失敗したり、間違ったことをしたりし、私たちはそれを正そうとします。自分に言い聞かせます。「これは犠牲がありそうだな。その分、支払わなければな。」と。すると主がそこにいて下さり仰います。「いいえ、あなたが払うものではありません。わたしが既に支払いました。」「あ～私は代価を払わなければ、、、」「いいえ。わたしが既に支払いましたよ。」

「ええでも、これは大きな代価で、、、」「いいえ、わたしが犠牲を払いました。あなたではありません。」わお～。それが御力なのです。御力です。一緒に杯をいただきましょう。ご起立ください。デイビッドと賛美チームがあがって来て、歌で締めくくります。ご忍耐ありがとうございます。今夜は少し長くなってしまいましたね。聖餐式を急いでしたくはないのです。このような豊かでパワフルな時間を。

ああ主よ、本当に本当に本当に感謝します。イエス様。ただ、あまりにも不十分だと思うのです。つまり、どうすれば栄光のこちら側にいる私たちが、十分感謝することができるのでしょうか？できるわけがありません。しかし、私たちが永遠に行けば、あなたに感謝し、あなたを賛美し、あなたを礼拝するのです。あなたは、私たちの賛美にふさわしいお方だからです。

ふさわしい方、ふさわしい方、ふさわしい方、屠られた子羊。(黙示録 5:12 参照)

イエス様、ありがとうございます。イエス様、ありがとうございます。イエス様、ありがとうございます。イエス様、あなたを愛しています。イエス様、ありがとうございます。イエスの御名によって祈ります。アーメン。

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオへ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7